【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和5年4月4日(2023.4.4)

【公開番号】特開2021-194454(P2021-194454A)
【公開日】令和3年12月27日(2021.12.27)
【年通号数】公開・登録公報2021-063
【出願番号】特願2020-105229(P2020-105229)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｈ　7/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｈ　7/00　３２２Ｂ
Ａ６１Ｈ　7/00　３２２Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和5年3月27日(2023.3.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
被施療者の胸部および両肩部を支持する前側支持体（６）と、被施療者の背中部を支持する後側支持体（７）とを有し、両支持体（６・７）を一体化してなる本体部（２）と、
後側支持体（７）に設けられ、加圧空気の供給を受けて膨張し被施療者の背中部を圧迫する第１エアバッグ（１１）と、
を備え、
第１エアバッグ（１１）が、後側支持体（７）の左右中央部に配置されていることを特徴とするマッサージ装置。
【請求項２】
前側支持体（６）に、加圧空気の供給を受けて膨張する左右一対の第２および第３のエアバッグ（１２・１３）が設けられており、
第２エアバッグ（１２）が被施療者の左肩関節を圧迫する位置に配置され、第３エアバッグ（１３）が被施療者の右肩関節を圧迫する位置に配置されている請求項１に記載のマッサージ装置。
【請求項３】
第２および第３のエアバッグ（１２・１３）は、同期して膨張できるようになっており、
前側支持体（６）に設けられた両エアバッグ（１２・１３）が膨張された状態で、後側支持体（７）に設けられた第１エアバッグ（１１）が膨張されるように構成されている請求項２に記載のマッサージ装置。
【請求項４】
第２および第３のエアバッグ（１２・１３）は、それぞれ異なるタイミングで膨張できるようになっており、
後側支持体（７）に設けられた第１エアバッグ（１１）が膨張された状態で、前側支持体（６）に設けられた両エアバッグ（１２・１３）が交互に膨張されるように構成されている請求項２に記載のマッサージ装置。
【請求項５】
第１エアバッグ（１１）が、被施療者の肩甲骨の上下中途部において左右の肩甲骨の対

向縁を圧迫する位置に配置されている請求項１から４のいずれかひとつに記載のマッサージ装置。
【請求項６】
本体部（２）は被施療者の首部に被さる襟支持体（９）を備え、該襟支持体（９）に加圧空気の供給を受けて膨張する第４エアバッグ（１４）が設けられており、
第４エアバッグ（１４）が、被施療者の頸椎と胸椎との境界を圧迫する位置に配置されている請求項２に記載のマッサージ装置。
【請求項７】
第４エアバッグ（１４）は首回り方向に延びる帯状に形成され、被施療者の僧帽筋に臨む領域において首部を囲繞するように配置されており、
襟支持体（９）に設けられた第４エアバッグ（１４）が膨張された状態で、後側支持体（７）に設けられた第１エアバッグ（１１）が膨張されるように構成されている請求項６に記載のマッサージ装置。
【請求項８】
加圧空気を生成するエアポンプ（１８）と、該エアポンプ（１８）と第１から第４のエアバッグ（１１～１４）との間に設けられ、エアポンプ（１８）で生成された加圧空気を各エアバッグ（１１～１４）に分配する分配器（１９）と、エアポンプ（１８）で生成された加圧空気を分配器（１９）へと送給する送給管（２１）と、エアポンプ（１８）および分配器（１９）を制御して各エアバッグ（１１～１４）の膨縮を制御する制御手段（２０）とを備えており、
分配器（１９）は、送給管（２１）と各エアバッグ（１１～１４）との間にそれぞれ設けられ、各エアバッグ（１１～１４）に対する加圧空気の送排気を担う膨縮制御弁（４４（４４Ａ～４４Ｄ））を備えており、
各膨縮制御弁（４４（４４Ａ～４４Ｄ））は、送給管（２１）に接続される取入ポート（４８）と、各エアバッグ（１１～１４）に接続されるバッグポート（４９）と、弁外へ空気を排出する排気ポート（５０）とが設けられたスリーブ（４５）と、該スリーブ（４５）の内部に変位可能に配置され、空気の流れを操作するスプール（４６）と、該スプール（４６）を変位操作するアクチュエータ（４７）とを備えており、
スプール（４６）は、取入ポート（４８）とバッグポート（４９）とを連通させる膨張位置と、バッグポート（４９）と排気ポート（５０）とを連通させる収縮位置とに変位できるように構成されており、
制御手段（２０）が、エアポンプ（１８）を駆動し、第４エアバッグ（１４）の膨縮制御弁（４４Ｄ）のスプール（４６）を収縮位置から膨張位置に変位させて第４エアバッグ（１４）を膨張させた状態で、少なくとも第１エアバッグ（１１）の膨縮制御弁（４４Ａ）のスプール（４６）を収縮位置と膨張位置との間で変位させる請求項６または７に記載のマッサージ装置。